



Shimabara
Special
Quality

～もっと身近に、島原ブランドを～
島原スペシャルクオリティ

「豊スマートフォンケース」

豊がスマートフォンのケースになりました。機種に合わせて作成するオーダーメイドで、一つ一つ丁寧に作られています。豊表と豊縁は好きなものを選ぶことができるので、自分だけのお気に入りを作ってみませんか。

○酒井タタミ店 白土町 (☎ 63-0673)



「島原といも千金焼」

口の中でとろけるしっとりしたスイートポテトです。さつま芋、牛乳、玉子、はちみつは島原産のものを使用しています。添加物は加えず天然素材だけで作っているので、素朴で優しい味わいでいて、豊かな風味が広がります。

○有限会社 必勝堂ビクトワール 新町一丁目
(☎ 62-5818)



▶問い合わせ先 しまばらブランド営業課 (☎ 68-1111 内線 573)

地域おこし協力隊コラム②

協力隊、なんしよっと？
地域おこし協力隊 松原正武



新能運営委員会に所属して、新能と子ども狂言関連の撮影を年間を通してやっています。

能や狂言も、島原に移住してはじめて観ました。「島原子ども狂言ワークショップ」では、5月に稽古がはじまり半年後の10月、島原城新能の檜舞台に立ちます。

5月、はじめての稽古で泣いていた子どもが、和泉流狂言師・野村万緑さんのご指導やボランティアスタッフの協力で、半年で舞台に立てるようになっていく立派な姿を見て、本当に驚きました。



昨年、愛知県幸田町との姉妹都市提携の調印式でも、島原のオリジナル狂言『釣ろうよ』を演じています。鯛は「めでたい」に通じる

ところから縁起のよい魚として、姉妹都市提携のお祝いとして、ぴったりの演目です。

子ども達は見事に大役を果たしていました。島原の文化的な豊かさを市外にアピールするのにも、子ども狂言の果たしている役割は大きいと思います。

平成24年のジオパーク国際ユネスコ会議の舞台で、世界各国から集まられた海外のお客さんの前で披露して、大絶賛を浴びたというのも、領けます。

「島原子ども狂言ワークショップ」は、他の地域にはない島原独自の素晴らしい文化活動だと思います。

▼問い合わせ先 政策企画課
(☎ 68012)